

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月15日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社ジェーシー・コムサ
 コード番号 2876 URL <http://www.jc-comsa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 和田 隆介
 (氏名) 野田 忠克

TEL 03-5722-7261

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	12,605	2.1	828	8.3	763	19.5	355	19.8
21年3月期第3四半期	12,348	—	764	—	638	—	296	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	44.67	—
21年3月期第3四半期	37.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	9,085	2,445	26.9	307.38
21年3月期	9,038	2,156	23.9	271.00

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 2,445百万円 21年3月期 2,156百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	7.00	7.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	5.3	700	△9.9	600	1.5	250	△24.7	31.41

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 8,477,890株 21年3月期 8,477,890株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 520,500株 21年3月期 519,050株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 7,957,775株 21年3月期第3四半期 7,960,989株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一昨年来の経済危機が雇用情勢などに深刻に影響し、個人消費が低迷を続ける極めて厳しい状況で推移いたしました。

当社グループが所属する食料品・外食業界におきましては、個人消費の鈍化が続くなか、新型インフルエンザ流行等の影響による外食市場の低迷に加え、食の安全に対する一層の取組強化が求められ、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような経営環境の中で、当社グループは経営理念としている「食と食の文化を通じてお客様に満足と幸せを提供する」ことを一貫して追い求め、「食の安全・安心」を第一に掲げて、業績の向上と財務体質の改善を図り、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,605百万円（前年同四半期比2.1%増）となり、営業利益は828百万円（同8.3%増）、経常利益は763百万円（同19.5%増）、四半期純利益は355百万円（同19.8%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

(1) ピザ関連事業（食料品事業）

ピザ関連事業（食料品事業）におきましては、主要原材料のチーズ及び小麦粉の価格変動は、依然として予断を許さない状況が続いており、また、競争の激化に伴う厳しい事業環境には変化はありません。このような中で、引き続き自社製品の生産から販売に至る全ての工程の見直しと効率化を実行してまいりました。

営業部門におきましては、重点自社製商品の販売強化、既存取引先との関係強化、新規取引先の開拓強化策、販売アイテム数の整理等を実施することで、収益の確保、増大を図ってまいりました。また、生産部門におきましては変動労務費の削減、製品の歩留まり改善、品質管理の強化を通じて生産性の向上を図ってまいりました。

その結果、売上高は7,230百万円（前年同四半期比1.5%減）、営業利益は1,133百万円（同18.4%増）となりました。

(2) 外食事業

外食・中食・宅配事業を展開するコムサ事業本部並びに連結子会社（株式会社ファンシーコーポレーション及び株式会社ビーデリサービス）におきましては、店舗運営の効率化を基本政策として、オペレーションの見直しを積み重ねるとともに、調理・販売価格の見直しや人件費を始めとする販管費の削減及びフードコストの管理強化を行い、店舗粗利益の向上を図ってまいりました。

外食事業の売上高は、第1四半期連結累計期間より、中華・洋食宅配事業が連結対象に加わったことにより、前年同四半期比で増加しましたが、個人消費の鈍化や消費者の外食を控える影響等を受けて、既存店舗売上が前年を下回ったことから収益を圧迫することになりました。

尚、競争力のある店舗立地の獲得、不採算店舗の見直しの基本方針は、引き続き進めてまいります。

その結果、売上高は5,375百万円（前年同四半期比7.3%増）、営業利益は155百万円（同47.5%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は9,085百万円となり、前連結会計年度末より47百万円の増加となりました。これは主に、売上債権の増加によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は6,639百万円となり、前連結会計年度末より241百万円の減少となりました。これは主に、社債の減少によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,445百万円となり、前連結会計年度末より289百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期（平成22年3月期）の業績見通しにつきましては、現時点においては当初予定していた範囲を超えて推移しておりますが、先行き経済環境は依然として不透明感が強く、前回発表（平成21年11月9日）の連結業績予想を据え置いております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(連結の範囲に関する事項の変更)

前期末において当社の連結子会社であった株式会社サム・アップは、平成21年7月1日付で当社の連結子会社である株式会社上海エクスプレスに吸収合併され、消滅しました。また、同日付で株式会社上海エクスプレスの商号を株式会社ビーデリサービスに変更しました。

(持分法の適用に関する事項の変更)

第2四半期連結会計期間より株式会社ジェー・シー・シーは関係会社に該当しなくなったため、持分法の適用範囲から除外しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,663,412	1,909,391
受取手形及び売掛金	2,541,524	1,814,299
商品及び製品	344,666	383,915
原材料及び貯蔵品	302,394	215,210
その他	138,679	239,179
貸倒引当金	△1,216	△3,655
流動資産合計	4,989,461	4,558,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,418,215	4,553,085
減価償却累計額	△2,906,727	△2,901,776
建物及び構築物(純額)	1,511,488	1,651,309
その他	3,267,576	3,332,016
減価償却累計額	△2,096,136	△2,164,010
その他(純額)	1,171,439	1,168,005
有形固定資産合計	2,682,927	2,819,314
無形固定資産	89,185	83,780
投資その他の資産		
敷金及び保証金	946,421	985,057
その他	394,472	606,396
貸倒引当金	△16,832	△14,345
投資その他の資産合計	1,324,061	1,577,109
固定資産合計	4,096,174	4,480,204
資産合計	9,085,636	9,038,547
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,473,499	1,246,001
短期借入金	1,397,647	1,519,864
未払法人税等	210,314	245,234
賞与引当金	84,665	136,573
その他	1,041,044	1,324,238
流動負債合計	4,207,171	4,471,911
固定負債		
社債	20,000	140,000
長期借入金	1,934,650	1,858,772
退職給付引当金	332,309	316,687
役員退職慰労引当金	53,529	25,858
その他	92,017	68,438
固定負債合計	2,432,505	2,409,755
負債合計	6,639,676	6,881,667

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	823,810	823,810
資本剰余金	1,043,657	1,043,657
利益剰余金	585,410	291,125
自己株式	△6,997	△6,798
株主資本合計	2,445,881	2,151,794
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	414	2,252
繰延ヘッジ損益	△335	2,833
評価・換算差額等合計	78	5,085
純資産合計	2,445,959	2,156,880
負債純資産合計	9,085,636	9,038,547

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	12,348,100	12,605,563
売上原価	6,979,405	6,796,847
売上総利益	5,368,694	5,808,715
販売費及び一般管理費		
給料手当及び福利費	1,902,531	2,182,128
賞与引当金繰入額	56,370	65,964
退職給付費用	22,153	26,633
役員退職慰勞引当金繰入額	16,985	27,671
その他	2,605,789	2,677,782
販売費及び一般管理費合計	4,603,830	4,980,180
営業利益	764,863	828,535
営業外収益		
受取利息	3,958	2,380
受取賃貸料	5,198	5,435
持分法による投資利益	—	905
その他	15,478	22,452
営業外収益合計	24,635	31,174
営業外費用		
支払利息	85,776	69,306
持分法による投資損失	41,735	—
その他	23,026	26,665
営業外費用合計	150,538	95,971
経常利益	638,960	763,737
特別利益		
貸倒引当戻入額	—	2,439
固定資産売却益	126	1,671
投資有価証券売却益	—	1,817
受取補償金	26,512	—
その他	—	555
特別利益合計	26,638	6,484
特別損失		
固定資産売却損	—	4,708
事務所移転費用	—	3,510
固定資産除却損	689	8,373
減損損失	61,948	1,630
店舗閉鎖損失	10,166	10,416
投資有価証券評価損	4,230	—
特別損失合計	77,034	28,638
税金等調整前四半期純利益	588,564	741,583
法人税、住民税及び事業税	294,451	343,224
法人税等調整額	△1,830	42,851
法人税等合計	292,620	386,075
少数株主損失(△)	△686	—
四半期純利益	296,630	355,507

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

該当事項はありません。